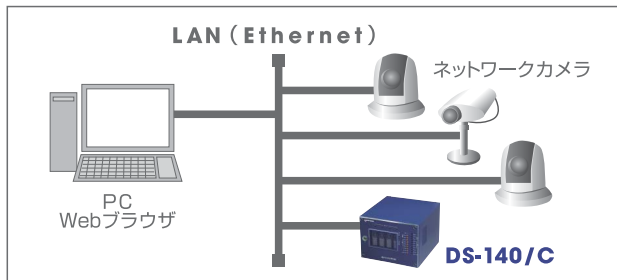


システム構成 1

FutureNet DS-140/Cは典型的には次のようなシステム構成で利用できます。



《FutureNet DS-140/Cの典型的な利用例》

- DS-140/Cはユーザが指定した条件に応じてネットワークカメラに動画の送信を指示する
- DS-140/Cはネットワークカメラから受け取った画像（JPEG形式）をストレージに蓄積し、同時に画像のインデックスをデータベースに登録する
- 録画した画像はWebブラウザ上での表示、動画再生、もしくはダウンロードが可能
- 閲覧端末からDS-140/Cにアクセスして複数のカメラの映像を同時にモニタ可能

FutureNet

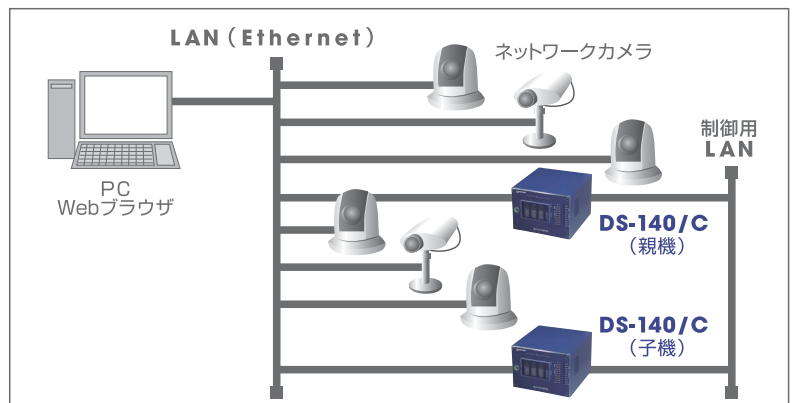
DS-140/C



高速ハードディスクを接続可能な
ネットワークカメラ録画アプリケーション

システム構成 2

1台のDS-140/Cを親機として設定し、2台目以降を子機として専用のLANポートに接続し、容量の拡張と負荷の分散が可能です。この構成の場合、親機が子機に対して録画、検索等の制御をします。



《複数のFutureNet DS-140/Cを接続する例》

FutureNet DS-140/C

FutureNet DS-140/Cは、複数のネットワーク対応監視カメラの画像を同時に録画、管理するための専用装置です。監視カメラの映像をスケジュールにしたがって、または指定した条件に応じて内蔵の大容量ハードディスクに録画し、必要に応じて検索、再生、ダウンロードできるよう管理します。装置の設定をはじめ、検索や再生、ダウンロード等の操作はすべてパソコン上のWebブラウザから簡単におこなえます。

また、ホットプラグ対応のRAID装置に400GBの3.5"ハードディスクを4台搭載しているだけでなく、ハードディスクとのインタフェースにはシリアルATAを採用し、高速なディスクアクセスを実現します。複数のネットワークカメラから送られる画像データ（JPEG形式）を同時に録画・保存する性能を備えており、保存した画像データはインデックスをデータベースで管理するため、高速に検索、抽出できます。

FutureNet DS-140/Cの特徴

400GBのハードディスクを4台搭載

標準で4台（最大）のハードディスク（400GB）を搭載しています。（最大1.6TB）

ホットプラグ対応のRAID装置。 ハードディスクのSMART機能との連動

確実に録画データを記録・保存するために、4台のハードディスクをホットプラグ対応のRAIDを組んで構成しており、万一ハードディスクが故障しても、システム電源を落とすことなくハードディスク交換作業を行うことが可能です。また、機器をネットワークで監視しているため、本体はもちろん接続しているネットワークカメラの状態も把握することができ、故障時にいち早く対応することが可能です。さらに、ハードディスクのSMART機能と連動することで、ハードディスクの故障を事前に察知し、SNMP等の手段で通知する機能を搭載しています。

セキュリティロック、 遠隔監視機能などセキュリティに配慮

本体のハードディスクは専用の鍵がないと本体から取り出すことができません。また、録画状態やシステムの運用状況をログとして残すことが可能です。また、SNMPトラップによるリモート監視機能も備えています。

本体の拡張性

FutureNet DS-140/Cを複数設置し、HDD容量の増設が容易に実現できます。また複数台にまたがった録画データであっても、親機にアクセスすることで、どこに保存されているデータであるかを意識することなく検索することが可能です。

監視カメラの映像をスケジュール指定、イベント指定、 センサーとの連動またはその組み合わせで録画可能

FutureNet DS-140/Cでは録画する時間帯をスケジュールに登録できます。また、監視中に指定したイベントが発生したときだけフレームレートを上げて録画するイベント指定も可能です。さらにモーションセンサーと連動させて監視中に動きがあったときだけ録画するといった設定も可能です。

監視カメラが捉えた映像をJPEGの静止画として

録画した映像の各コマは証拠能力のあるJPEGの静止画像です。この画像を動画として再生可能です。

メーカーの異なるネットワークカメラを接続し、 同時に録画可能/カメラ毎に監視方法を設定可能

パナソニック・AXIS・東芝製などの異なる機種をサポートしており、用途や、目的に応じてカメラの機種を選択可能で、かつネットワークカメラの増設も簡単に行うことができます。また、設置場所に応じ、カメラ毎に監視方法の設定ができます。モーションセンサーと連動させ、監視中に動きがあったときだけ録画と言ったイベント設定も可能です。

コスト・運用の手間を削減

FutureNet DS-140/Cは、専用設計のアプリケーションで、リーズナブルな価格・大容量を実現します。リアルタイム画像の閲覧がパソコンのブラウザを使って同時に4分割、または9分割に並べて表示可能。複数の監視カメラ映像を一括管理でき、拠点が多くなっても比較的運用・管理が簡単です。

高速な検索、抽出が可能

録画したデータのインデックス情報は本製品内蔵のデータベースで管理されるため、大量の録画データを高速に検索、抽出可能です。また抽出したデータはサムネイル表示されるため、直感的に分かりやすい操作性を実現しています。

製品のご購入・お問い合わせは

センチュリー・システムズ株式会社

〒180-0022 東京都武蔵野市境1-15-14 央戸ビル3F

TEL:0422-37-8911 FAX:0422-55-3373

URL <http://www.centurysys.co.jp/>
E-mail sales@centurysys.co.jp

カスタマイズについて

FutureNet DSシリーズについてはファイルサーバ、音声録音装置などへの転用開発についても別途ご相談の上承ります。詳細につきましては、別途弊社営業部までお問い合わせ下さい。

価格

JANコード: 4540428001129

●標準製品価格: 682,500円
(本体価格: 650,000円 + 消費税: 32,500円)
※400GBハードディスク×4台構成

●本体のみの価格: 367,500円
(本体価格: 350,000円 + 消費税: 17,500円)
※ディスクレス構成



仕様

機能		
CPU	高性能RISC CPU (600MHz)	
メモリ構成	RAM 256MByte/ROM 32MByte/CFカード 128Mbyte	
通信インタフェース	LAN1	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T Auto Negotiation, Full Duplex, Auto MDI/MDIX コネクタ RJ-45
	LAN2	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T Auto Negotiation, Full Duplex, Auto MDI/MDIX コネクタ RJ-45
	RS-232	DTE×2ポート (1ポートはUPS制御用) D-Sub9ピン (オス)、1,200~115Kbps
	DIO	センサ接続用デジタルI/O インタフェース 4 入力端子
	PCI	拡張用PCIスロット×1 インタフェース PCI-X (タイプ 64bit/100MHz)
ストレージ	インタフェース	シリアルATA (1.5Gbps) × 4
	HDD総容量	1.6TByte = 400G × 4
	RAID構成	RAID 0/1/5/10に対応、ホットスワップ機能
セキュリティ	盗難防止用ワイヤ取付穴 RAIDディスク取り出しロック 管理/パスワードによるアクセス制御 アクセスログ	
本体設定方法	Webブラウザ、設定ファイル Webブラウザからのファームウェア更新機能	
ネットワークカメラ 対応機能	カメラ接続台数	16台 (推奨)
	録画方式	スケジュール録画、イベント録画 ※イベント録画の種類: ・センサ録画 ・モーション検知録画 ・アラーム録画
	画像確認方法	Webブラウザでの再生、ダウンロード
	保存形式	JPEG
	画像検索方法	スケジュール録画検索 イベント録画検索 9分割画面検索
	ライブ閲覧	1/4/9分割リアルタイム画像表示
センサ接続台数	4入力	
運用管理機能	RAID管理機能 情報表示機能: システム状態、カメラ接続状態、アクセスログ NTP UPS制御機能 SNMPトラップ対応	
外形寸法	269mm (幅) × 290mm (奥行き) × 200mm (高さ) ※突起物除く	
電源	AC100V	
対応UPS	APC: Smart-UPS 500、750、750RM (ラックマウント) ユタカ電機: UPS610HS、UPS610HP (ラックマウント)	
動作温度湿度	温度 0℃~+40℃、湿度 10%~90% (結露なきこと)	

*対応カメラにつきましては、別途弊社営業部までお問い合わせ下さい。